

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.3.26 第 169 回国会第 12 号

3月26日、第12回の委員会が開かれました。

- 1 国際開発協会への加盟に伴う措置に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 18 号）
 - ・ 額賀財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・ 額賀財務大臣、森山財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・ 採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 自民、民主、公明、共産、国民、中村喜四郎君）
 - ・ 後藤田正純君外 2 名（自民、民主、公明）から提出された附帯決議案について、後藤田正純君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・ 採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成 自民、民主、公明、共産、国民、中村喜四郎君）

（質疑者及び主な質疑内容）

松本洋平君（自民）

- ・ アフリカ等の貧困国に対して政府はどのような支援策を考えているか。
- ・ 国際開発協会（IDA）への出資が我が国の利益にどのように結びついているのか。
- ・ IDA への出資を我が国は外交戦略上どのように活用していくのか。

盛山正仁君（自民）

- ・ IDA 等の世界銀行グループにおける気候変動への取組はどのような状況にあるか。
- ・ 国際機関における我が国の人材育成及び国際機関に対する出資の重要性についてどのように認識しているか。
- ・ IDA への出資による我が国の貢献について額賀財務大臣はどのように考えているか。

小沢鋭仁君（民主）

- ・ IDA への追加出資額及び出資シェアはどのような経緯で決定されたのか。
- ・ マルチ援助の意義についてどのように考えているか。
- ・ 急激な為替変動による我が国経済への影響についてどのように認識しているか。
- ・ 為替介入に対する財務省の基本姿勢について伺いたい。
- ・ 景気対策について額賀財務大臣はどのように考えているか。

鈴木克昌君（民主）

- ・ IDA に対する追加出資の範囲が 3,626 億円となったのはどのような交渉経緯によるのか。
- ・ 出資額の多寡が我が国の発言力に影響すると考えているのか。
- ・ IDA への出資を出資国債で行うのではなく ODA 予算で行うべきではないか。
- ・ 重債務貧困国（HIPC）に対するマルチ債務救済イニシアティブ（MDRI）に対する債務削減スケジュールと我が国の負担額はどうか。
- ・ 債務救済に係るフリーライダーについて IDA はどのような対応策をとっているのか。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・ IDA の基本的性格はどのようなものか。
- ・ 従来の画一的構造調整融資に対する問題点について額賀財務大臣はどのように認識しているか。
- ・ 特別の条件を外部から押し付けるような融資は現在も残っているのか。
- ・ 途上国支援は貧困の克服に役立てるものであり我が国の国益に資するとはいかなるものか。